

事例9:エコロジープロジェクトによる取組

清水町:医療法人宏和会 岡村記念病院

分野:病院
業種:医療(循環器系)
職員数:約150人(非常勤等含む)

対策の着眼点

病院の建て替えを機会として、コスト削減を進めるための取組を展開する中で、積極的な省エネやエコ活動を考慮した形での取り組みをプロジェクトとして構築した。

循環器系の医療器具については大電力を使用することもあり、この部分の節電は不可能なことから、できる部分で最大限努力を行うこととした。

取組期間

平成20年～現在継続中

節電成果 (7月、8月)

平成22年度比5%削減目標に対し 10%削減

具体的な取組内容

エコロジープロジェクト

コスト削減からエコ活動へ

- 病院建替をきっかけにコスト削減を目的としていた節約の取組を、省エネ、エコ活動へ一歩進めて「エコロジープロジェクト」として立ち上げた。
- 平成23年の夏は、東日本大震災の影響による節電要請について、病院としては電力の規制緩和により、前年度比0%の節電とされていたが、自主目標を設定してでき得る範囲での節電を実施した。

職員への効果的な省エネ・節電啓発

情報提供と対話

- 全職員で統一見解をもつこと
目標の設定について、定期的に啓発する。また、1年間の電気使用量の前年比較や、電気代の推移等を定期的に見せることで、節電意識、コスト意識の向上を図る。
- 目をひくこと
ポスター、グラフ等で目を引く形での情報提供を心がける。
- 話し合う
会議という形でなく、時間が空いた時に「気軽に」話をする事で、現場側と管理側で密接な意見交換を行う。

エコロジープロジェクトの取組

年月日	活動内容	報告
5月中旬	水道光熱費の使用状況報告	月別に半年間分まとめて
6月9日	院内研究発表会にて発表	テーマ: 「岡村記念病院の省エネ力」
7月中旬	事務消耗品月毎の経費報告 (用紙・インク・コピー関連)	・21年度より30%削減目標
7月31日	岡エコ院外活動 第1回 柿田川清掃奉仕活動	・年2回実施 主催:清水町、 柿田川湧水保全の会
8月	院内向け岡村だより(夏号)掲載	エコ活動報告(院内研究・柿田川清掃)
10月中旬	事務消耗品月毎の経費報告 (用紙・インク・コピー関連)	
11月8日	・電気使用量から見た年度別 CO ₂ 排出量の報告	・平成19年の旧病院から 22年度までのガス・ 電気料から見たCO ₂ 排出 量を算出し、比較した材料 を報告。
12月中旬	水道光熱費の使用状況報告	月別に半年間分まとめて
1月7日	岡エコ耳よりな情報 (冬季の省エネ対策について)	・節電を身近なところから 始めてみよう。 (蛍光灯・空調設備等省エネ)
1月中旬	事務消耗品月毎の経費報告 (用紙・インク・コピー関連)	・21年度の使用料よりコストが 若干ダウン。
23年 2月5日	岡エコ院外活動 第2回 柿田川清掃奉仕活動	・年2回実施 主催:清水町、 柿田川湧水保全の会
4月下旬	事務消耗品月毎の経費報告 (用紙・インク・コピー関連)	

「目をひく」情報提供

- 色や図、身近なデータを使って職員の目を向かせる。

電気使用量と二酸化炭素排出量

電気使用量から見た年度別CO2排出量の報告

(19年度の旧病院～20年以降の新病院)

作成:総務課 22.11.8

このデータは、年間の電気・ガスの使用量からCO2の排出量(t-CO2)を算出し、19年度の旧病院の面積(約3,000m2をベースに新病院の面積(約6,000m2)の1m2あたりからのCO2排出量を算出し比較しました。

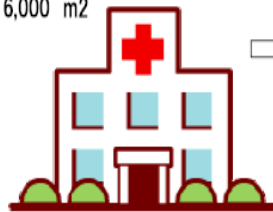
※年度は4月から翌年3月まで

平成19年度(旧病院) 電気・ガス(LPG・13A)		平成20年度(新病院) オール電化		平成21年度 オール電化		平成22年度 オール電化	
電気使用量(kWh)	860,388	電気使用量(kWh)	1,432,488	電気使用量(kWh)	1,377,144	電気使用量(kWh)	1,430,043
LPGガス(m3)	5,286						
13A都市ガス(m3)	24,267						
合計年間CO2排出量(t-CO2)	382	合計年間CO2排出量(t-CO2)	486	合計年間CO2排出量(t-CO2)	467	合計年間CO2排出量(t-CO2)	485
1m2あたりのCO2排出量(t-CO2)	0.127	1m2あたりのCO2排出量(t-CO2)	0.08	1m2あたりのCO2排出量(t-CO2)	0.078	1m2あたりのCO2排出量(t-CO2)	0.081

3,000 m2



6,000 m2



旧病院と比較し63%低減

旧病院と比較し61%低減

旧病院と比較し64%低減

※:上記の使用量は、22年4月～10月までの月平均×12ヶ月で算出したものです。(23年3月までの想定数となります)

旧病院の1m2あたりのCO2の排出量 0.127より、新病院では0.08と63%低減され、21年度0.078で61%低減、22年度については見越しの使用量で算出すると、0.081と64%低減となるのではと予想されます。旧病院より、新病院ではオール電化により、かなりのCO2の排出量をカットすることが出来ました。今後は、1%とでも低減出来る様、各科ムダな電気の削減にご協力下さい。

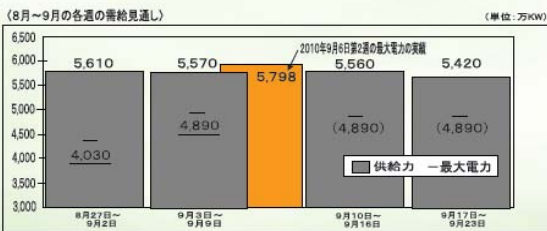
こまめな節電実績や、具体的な取組についての情報提供

岡エコから
第2報

岡エコでは、職員みんなで節電アクション推進

引き続き節電へのご理解・ご協力を！！

夏の暑さもやピークを過ぎ、季節は秋に変わりつつありますが、まだまだ残暑の厳しさを感じます。
東京電力より9月26日に「今夏の電気需要見通しと対策について(第12報)」のお知らせがホームページで紹介されていました。内容は、8月27日～9月23日までの期間を約1週間区切りで需要の見通しをまとめ発表された。
計画停電の不実施・災害による東北地方の電力需給バランスの緩和を継続していくため、広く社会の皆様へのご理解とご協力をお願いしており、当院としても引き続き節電の協力をしていきたいと考えています。



暑い夏もう少しておわりですが、もうひと踏ん張り！

各科で出来る節電の4つのポイント

- ① エアコンで節電！** 設定温度・風向きを調節して節電！
- ② 照明で節電！** 明るさや点灯時間を調節して節電！
- ③ 省エネ行動で節電！** 電気の使用は必要最小限に！
- ④ ノー残業デーの推進！** 明るい時間に働いて、暗くなったら帰る！

- ① エアコンで節電！** 設定温度・風向きを調節して節電！
 - ・冷房時の温度は27℃
季節を考慮し、冷房の温度は、27℃を目安にしましょう。
 - ・扇風機を上手に活用しよう
扇風機は、風が体に当たると涼しく感じます。
 - ・フィルターの清掃はこまめに
フィルターはこまめに清掃しましょう。目詰まりしたフィルターは、冷房時の効果が下がります。無駄な電気を使います。
- ② 照明で節電！** 明るさや点灯時間を調節して節電！
 - ・開閉スイッチを切る
廊下などがあり、明るさが十分に確保されている場所は、照明器具の数を減らす事も節電につながります。
 - ・点灯時間を短くしよう
必要のないあたりはこまめに消しましょう。必要なお手洗い場には、LED照明の導入もおすすめです。
 - ・照明器具の清掃で明るさアップ
ランプが汚れると、明るさが徐々に低下します。人の出入りする場所などは汚れやすいため、こまめにお手入れしましょう。
- ③ 省エネ行動で節電！** 電気の使用は必要最小限に！
 - ・エレベーターの使用を控える
急ぎの場合は階段を利用する。また、なるべく一台に乗り切の工夫をしよう。(休日の昇降機は必ず乗る)
 - ・OA機器のこまめなスリープ
使用しないパソコンやOA機器は必ず電源をオフにしよう。コンセントからプラグを抜けば待機電力も減らすことができ、より節電です。
 - ・1日1時間、使用時間を減らした場合の省エネ効果(年間)
・デスクトップ型 電気31.57kWh、原油にして7.90L、CO2削減量13.2kg
・ノート型 電気5.40kWh、原油にして1.38L、CO2削減量2.3kg
※電力の排出係数0.419-tCO2/kWhで試算
- ④ ノー残業デーの推進！** 明るい時間に働いて、暗くなったら帰る！
 - ・ノー残業デーを推奨しよう
「明るい時間に働いて暗くなったら帰る」を目録にしましょう。残業しない日を決めることで、夜間の消費電力を効果的に削減出来ます。

経済産業省の節電アクションにエントリー(節電計画提出)しました

只今、事業者向け節電サイトに掲載中！！

サイトへは、<http://jigyosetsuden.go.jp/plan/user/hjeyy3.html>

閲覧数を増やして、当院のトロフィーをランクアップしましょう。
※このサイトは、閲覧数が増えれば増えるほどトロフィーがランクアップします。多くの人から見てもらうことにより、トロフィーの色や大きさが変わるシステムです。

15%削減

岡エコプロジェクトチーム 2013.2

ハード面の取組

窓への遮熱フィルムの施工

開口部となっている窓への遮熱フィルムの貼り付け

遮熱フィルム施工	工事費	170万円
	施工面積	約200㎡
	工期	約1ヶ月



受付窓口のLED照明

使用頻度が高い受付窓口へのLED照明の設置
(ダウンライト型)

工事費	約22万円 (5ユニット設置)
工期	約半日



苦労した点

- ◎入院患者の方々への配慮や、医療機器の稼働のため、思い切った節電ができない分、職員各個人の努力により節電を進めたこと。
- ◎節電意識の継続のために、こまめな情報提供を行ったこと。
- ◎職員に対し、自宅と同じ意識で節電に協力するように啓蒙活動を継続したこと。

今後の課題、目標

職員に実施して欲しいことや、伝えたいことは目に見える形にして示さなければ職員の意識に残らない。

平成23年度は東日本大震災の影響により職員の節電意識も高かったが、この節電意識を維持していくためにも、引き続き実施した結果を様々な形で残し、職員に情報提供を行っていく。

右：事業所全景

